

温故知新

其の四 郷土資料館展示公開に向けて

郷土資料館の展示を期間限定で公開します



漁具同様に、展示に向けて清掃・整理中の農具



猿払小学校に移設し、保管していた郷土資料の整理も進み、校舎内の各教室を利用した展示に向けて準備を進めています。郷土資料館としてはまだまだ不十分ではあります。が、10月上旬から一定期間の展示公開をします。

展示公開の開始は、回覧等でお知らせします。普通教室3教室、図書室兼児童会室、印刷室、コンピュータ教室、校長室に、各分野別ごとの郷土資料を展示し公開します。資料館を見学された方の休憩スペースとして、食堂に本棚と椅子を設置

し、幼児向けの絵本から一般書籍を配置する予定です。今年度は、展示公開期間を1か月間程度とし、次年度以降は多目的ホールを利用して企画展示なども計画していきます。

展示教室などの整備や展示に関する備品なども早く村民の皆様に郷土資料を目にしていただき、足を運んでいただき、展示に関する感想やご意見をお寄せ下さい。

郷土資料館の今



食堂だった場所には、本棚と窓際にベンチを作り、休憩用のスペースとしました。



▲村の歴史上、大きな事故となったインディギルカ号遭難関係をまとめています。



▶林業に関する道具や馬具などを準備中です。



農業を中心とした教室は、パネルの設置など準備中です。



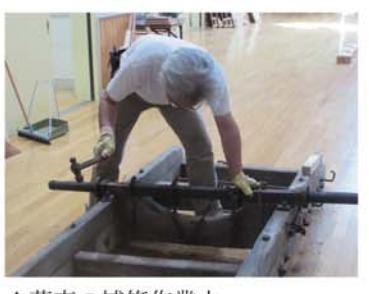
▲200個以上のアンモナイト化石は、年代や名称などを分類して展示予定です。



▲村内の「埋蔵文化財包蔵地」を紹介する部屋と、展示区分中の土器片など。



▲アンモナイトの化石は、展示に向けてクリーニング作業中です。



▲荷車の補修作業中